

## 災害時にはみんなで協力し合い、被災者支援に尽力しよう

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。今日は、先週4月14日に発生した熊本県を中心とした大震災に関するお話を少しさせていただきます。被害を受けて大変な思いをなさっている方々に、心よりお見舞いを申し上げます。また、我々のできることがあれば、少しずつでもやらせていただければと思っております。
2. 今回の大震災を踏まえて、我々も考えるべきことがたくさんあると思います。私は、栃木県・群馬県・茨城県で開倫塾という学習塾を60校舎ほど展開していますので、先週の土曜日ぐらいから今週にかけて、企業としての継続計画、つまりビジネス・コンティニューイティ・プラン(事業継続計画)というものについて再確認したいと考えています。具体的には、緊急時にどんなことをしたらよいのかについても一度まとめ直してみんなで議論し、来週あたりにはもう一回マニュアルのようなものを作り直して勉強し直そうと思っています。
3. さて、今回私が感じたことを、皆様と一緒に考えていきたいと思っています。それは、2011年3月11日の東日本大震災のときにもだいふ問題になった、救援物資が被災者のところにあまりうまく届かないということが今回も見られたことです。

救援物資を担当なさっている方が、一所懸命に努力なさっていることはよくわかります。しかし、いかんせん、普段は救援物資のような大量の物資を取り扱ったことがない方が担当者になり、いろいろな場所に集めて被災者のところに送るという作業をしていますので、スムーズに進まないことがあるようです。言ってみれば、ピアノの弾けない方がピアノを弾くと同じような感じですから、なかなか難しいと思います。
4. そこで、少し提言めいたことをいわせていただきます。3.11のときも随分と議論になりましたが、私はやはり物資の移動は、それに慣れた方にやっていただくのが一番よいと思います。慣れた方とは、宅配業者の方々や運輸関係の方々のことで、予め協力を依頼しておくのはどうでしょうか。具体的には、競争入札のようなことをやり、いざというときに依頼する順番を予め行政のほうで決めておきます。そして、災害が起きたときに被災者の方に救援物資を送りたい方は、そこに送っていただく。その業者のみでは間に合わなくなったら、次の業者に回す形にすれば、行政の方がやるよりはるかにスムーズに、確実に、スピーディーに、被災者のところに物資が届くのではないかと思います。これが私の提案です。

5. これは 3.11 のときも少し議論されましたが、そのあとは議論されなくなってしまいました。今回もそれが問題になっているのですから、この議論はぜひしていただきたいと思います。
- 例えば、栃木県はじめ北関東にこのような大震災が起きたときに、また同じような対処がなされると、せつかくの救援物資が被災者のところに届くのが非常に遅れる場合があります。また、1か所に集まった物資が過剰になり、支援がストップされる場合も出てきます。これでは、あまりにももったいないです。
6. これはいいにくい話ですが、警備体制も万全ではないようです。世の中には警備会社がたくさんありますので、できれば事前に警備をお願いしたり、競争入札でいざというときの警備会社を決めたりしておくとういと思えます。被災時には泥棒などのよからぬことをする人もいますので、それらの犯罪を防いでいただければと思います。そして、警察・自衛隊・消防の方々には、本来の任務である人命救助に全面的に力を注いでいただければと思います。
7. また、壊れたり倒れたりした家屋の被災状況の調査をしている方もいますが、人数が足りなくてとても困っているという話を聞きます。それも、設計事務所や大きな建築会社などと予め契約しておいて、災害時には一斉に現地に入って調査をしていただくとよいと思えます。そうすると、役所の方々には本来の任務ができるのではないのでしょうか。
- 大きな災害のときには二次災害も考えられますので、非常時にはできるだけ民間の力を活用して備え、官も民も関係なく、みんなで力を合わせて被災者の方々の命と生活を守るのがよいと思えます。
8. 世の中には宿泊関係の方もたくさんいます。その方々にも協力していただき、被災者の方を近くの宿泊施設や空いている住宅などにどんどん臨時的に移送して、安全な生活を送っていただくとよいと思えます。中でも緊急性の高い方々から移動していただき、そこで安全な生活や生命の維持を図ることが大事ではないかと考えますので、そのお話を少しさせていただきました。
9. 先ほども紹介しましたが、開倫塾には 60 ぐらいの校舎があり、塾生が 6000 名近く、先生が約 500 名います。そこで、どうしたら非常時に塾生の皆様や先生方の命と健康を守れるかを考えて、これから訓練を行おうと計画しているところです。早め早めに避難訓練・救命訓練・備品確認などをして、被害が出た場合に対処したいと思えます。
- おそらく、一番役に立つのは CRT 栃木放送のようなラジオの放送局だと思います。CRT はこの度、新社屋に移転しましたので、緊急時にも素晴らしい対応をしてくださるのではないかと期待している次第です。
10. 今日は、先週からずっと続いている熊本県を中心とした大震災を踏まえ、私の考えを少し述べさせていただきました。放送をお聴きの皆様も、ぜひ考えていただければと思います。特に物資の供給は、できれば民間の業者の方に全面的に委託して配給をしていただければ、こんなに有難いことはないというお話をさせていただきました。皆様はどのようにお考えでしょうか。